

<b>Syllabus Id</b>	Syl-130-017(佐藤教員)		
<b>Subject Id</b>	Sub-130-205751		
<b>更新履歴</b>	2013.3.25 新規		
<b>授業科目名</b>	工業英語 I	Technical English I	
<b>担当教員名</b>	佐藤 憲史	SATO Kenji	
<b>対象クラス</b>	電気電子工学科 4 年生		
<b>単位数</b>	1 学修単位 (自学自習を含め 45 時間の学修をもって 1 単位とする)		
<b>必修 / 選択</b>	必修, 主要科目		
<b>開講時期</b>	前期		
<b>授業区分</b>	基礎能力系		
<b>授業形態</b>	講義		
<b>実施場所</b>	E4 ホームルーム		
<b>授業の概要</b> (本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
<p>グローバル化に対応したコミュニケーション手段として、工業英語の正しい理解と活用が産業界、学会で必須である。工学技術に関する英文読解力、英作文能力および英単語能力の向上を目的とする。</p>			
<b>準備学習</b> (この授業を受講するときに前提となる知識)			
工学全般にわたる技術用語 英語の基礎			
<b>学習・教育目標</b>	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D. コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力を身につける。			
<b>学習・教育目標の達成度検査</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。</li> <li>プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。</li> <li>目標達成度試験の実施要領は別に定める。</li> </ol>		
<b>授業目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>科学・技術に関する基本的な英語文章を読んで理解することができる。</li> <li>簡単な英文の技術報告書、取扱説明書、指示書、注意事項を解読できる。</li> </ol>			
<b>授業計画</b> (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
<b>回</b>	<b>メインテーマ</b>	<b>サブテーマ</b>	<b>参観</b>
第 1 回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標, 授業概要・目標, スケジュール, 評価方法と基準等の説明	
第 2 回	英文読解 1	Wisdom and how to learn	
第 3 回	英文読解 2	Mathematical expression and glossary I	
第 4 回	英文読解 3	Mathematical expression and glossary II	
第 5 回	英文読解 4	Mathematics	

第 6 回	英文読解 5	Electromagnetism	
第 7 回	英文読解 6	Review	×
第 8 回	中間試験	到達度の把握と評価	
第 9 回	英文読解 7	Technical reading I	
第 10 回	英文読解 8	Technical reading II	
第 11 回	英文読解 9	Technical reading III	
第 12 回	英文読解 10	Technical article I	
第 13 回	英文読解 11	Technical article II	
第 14 回	英文読解 12	Technical article III	
第 15 回	英文読解 13	Technical article IV	
第 16 回	期末試験	到達度の把握と評価	×
第 17 回	総括	試験結果の解説と総括	

### 課題とオフィスアワー

課題は自学自習課題として適宜提出させる。

課題：毎回の授業で課題プリントを配布する。自学自習のための Web 教材の情報は ELS のコースに掲載する。その他、英文多読等、自学自習の学習法を説明する。

オフィスアワー： 昼休み時間

### 評価方法と基準

#### 評価方法

中間、及び期末の 2 回の試験で、授業内容の理解と基本的な英文読解能力を試験する。

#### 評価基準

100 点満点の試験を 2 回行い、平均して 60 点以上の学生を合格とする。

#### 教科書等

配布プリント, Web 教材 (NetAcademy2, COCET3300, 工業英語問題集)

#### 先修科目

英語

#### 関連サイトの URL

工業英語協会 <http://www.jstc.jp/>

#### 授業アンケートへの対応

授業内容を整理して理解しやすいように努める。板書の内容をよく準備し丁寧に説明する。

#### 備

#### 考

1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。
2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。